

# はばたけ

NO.46

1999年 9月 30日発行

栃木障害者の自立をめざす会 《会員数 現在 239名》

事務局：〒328-0123 栃木市川原田町402-2 中山 全典 Ⅹ 0282-23-3226

## 99年自立の会一泊研修旅行

### 今年の研修地は **群馬** 方面でした

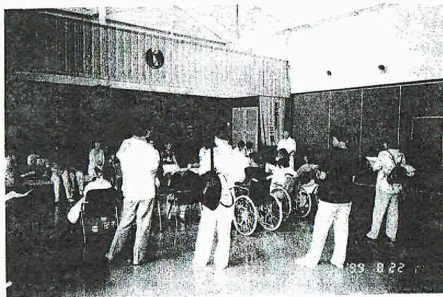
自立の会では毎年8月に一泊研修旅行（療養訓練）に取り組んでいます。研修旅行の目的は、一日は各地の福祉施設・団体を訪問し、すぐれた施設運営・実践・運動をみんなで学び合い、そしてもう一日は観光地や娯楽施設を訪れ会員間の交流を深めます。今年も8月22日（日）・23日（月）の日程で群馬方面へ向かい、大いに学び・交流を深めてきました。

今回の研修としては、一日目に社会福祉法人三和会の「藤ヶ丘学園」（群馬県勢多郡黒保根村下田沢3840）を訪問し、藤澤敏孝園長のお話を伺ったり、施設（入所更正・80名定員）の見学をさせていただきました。

藤ヶ丘学園は、大型バスがやっとたどりつけるような山の中腹に建っており、社会生活を営むうえではずいぶん不便なところという印象を受けました。実は20年前に太田市内に施設建設計画を進めていたところ、地元住民の方々による強い反対があり、北部の山奥に学園を開所したそうです。しかし、この苦い経験をバネにして、障害者があたりまえに街の中で暮らせるようにとねばり強い運動を進め、いろいろな苦勞や試行錯誤を重ねながらも次々に授産施設、通勤寮やグループホーム・福祉ホームを設置してきました。そして今では、この地域の障害者福祉は三和会抜きには語れないくらいにまで地域に密着し、97年には太田市内にも通所授産施設を建設することができました。施設を出てグループホームで自立生活を体験した方

たちは、いかに施設で育まれた処遇が保障されていると行っても、やはり気のあった仲間たちと共同生活を続けることを希望するそうです。

藤澤園長のお話の中で、障害を持つ人たちが、地域であたりまえに働き・生活することを実現していくことの大変さと大切さをあらためて教えていただき、参加者それぞれに得るものが多い研修となったと思えます。



## 自立の会旅行に初めて参加して

薄田 和子

こんにちは！今春ゆうの家に入所しました薄田和輝とわたし（母親）二人で参加させていただきました。

ゆくゆくは、ぜひともグループホームを利用したいと考えていたので、今回の施設見学はとても興味深いものでした。しかし藤が岡学園は、思いのほか山深い所にあり自然環境はバグンですが、地域社会から切りはなれているようで複雑な気持ちでした。でも、藤が岡学園を母体に、次々に作業所等施設を作っていくパワーはすごいものだと思います。

自立の会も今は、ゆうの家の認可と建設ですが、日頃会長がいわれるように、村づくりとして、グループホームやのちのち入所を希望する仲間たちの施設を作って行ける息の長い幅広い活動ができるとうれしいと思います。和輝は、話の間トランポリンのうえで熟睡中でした。

全員での夜の交流の他に、大人の深夜（？）の交流の場があるとよかったです。

翌日のフラワーパークとドイツ村は、好天氣に恵まれすぎ暑かったもののさほど広すぎず、初めての所ということもありいろいろ体験でき和輝も大好物のピザも食べられ大満足でした。

企画や下見等担当された方々、ご苦労様でした。次回は父親もぜひ参加できるとよいのですが・・・！！



## ● 自立の会 今後の予定 ●

- 10月1日(金) 冬季物品販売開始(11月30日まで)  
6日(水) 福祉ショップ運営委員会  
9日(土) 蔵の街音楽祭 物品販売  
~11日(月) ※9日は恒例のおいしいコロックパンも販売します。  
14日(木) 施設建設委員会  
16日(土) 自立の会役員会  
24日(日) 栃木ひまわり号(茨城・日立海浜公園)  
共作連栃木支部準備会・理事会  
ふれあいのつどい全体説明会
- 11月3日(水・祝) 自立の会収穫祭(芋煮会) 園分寺手塚さん畑にて  
7日(日) ふれあいのつどい  
10日(水) 育成会・全国小規模作業所大会  
~11日(木)  
11日(木) カルフル栃木・障害者文化祭  
施設建設委員会  
14日(日) 蔵の街ふれあいまつり・出店  
17日(水) 福祉ショップ運営委員会  
20日(土) 自立の会役員会  
23日(火・祝) 共作連栃木支部結成総会
- 12月4日(土) 第4回チャリティーダンスパーティー  
9日(木) 施設建設委員会  
12日(日) 自立の会・感謝クリスマス会(仮称)

◆「今年冬季物品販売」が胎まりました。この機会に一人でも多くの方に、販売活動へのご協力を呼びかけるとともに、自立の会の会員拡大もあわせてご協力をお願いします。

★「はばたけ」は次号より紙面を刷新します。より充実した内容で皆さまにお届けしたいと思いますので、ご期待下さい！

# ゆうの家 サマー体験実習

共同作業所ゆうの家では、できる限り地域の要望に応えることをめざし、養護学校在校生の夏休み期間中の活動保障として、8月2日より20日まで下記の通り「サマー体験実習」に取り組みました。

これは毎年夏に自立の会会員の在校生を対象に取り組んできたものですが、今回は養護学校全校生徒に案内を配付したところ、小学部1年生から高等部3年生まで予想を上回る20名の実習希望がありました。同時に福祉系の専門学校や市内の高等学校にボランティアのお願いをしたところ、計40名の学生さんたちに参加していただくことになりました。問題の実習場所についても、地域の公民館を利用できないものかと市の福祉課に相談した結果、大宮地区公民館を利用できることになりました。

## ● ゆうの家サマー体験実習の目的と取り組み ●

- 目的 ①養護学校の在校生…夏期休暇中に作業所を開放し、作業やレクリエーションなど活動の場を保障するなかで、様々な体験やたくさんの人と交流できるようにする。  
②高校生以上の学生…ボランティア体験を通して作業所や仲間への理解を深めてもらう。  
③作業所の仲間たち…様々な体験の中で多くの人と交流する機会とする。  
④作業所・自立の会…作業所や自立の会の活動・運営について知ってもらい、入会を勧める。また在校生にどのような要求があり、今後作業所・自立の会としてどのような取り組みや計画が必要か知る機会とする。

■期間 8月2日(月)～6日(金)、8日(日)、17日(火)～20日(金)  
計10日間

■場所 大宮地区公民館 柳木市大宮町422

- 内容 ①各種作業(竹細工・陶芸・軽作業・公園清掃)  
②デイケア活動(スポーツ・創作・調理)  
③レクリエーション(プール・音楽レク・カラオケ大会・ボーリング大会・ビデオ映写会)

- ④行事 ①8月4日(水) 「ポリシヨイサーカス鑑賞」  
②8月8日(日) 「まひるのほし」上映会



## サマー体験実習に参加して

小島 幸子

ゆうの家で初めての試みの『サマー体験実習』に参加させていただきました。小学部1年生から高等部生まで広い範囲で多くの申込みがあり、どうなることやらと心配もしましたが、皆さんのご協力のおかげで事故もなく無事に終了することができました。ありがとうございました。養護学校の夏休みの作品展に、実習に参加されたお子さんの作文と、楽しい様子の写真がありました。楽しい思い出になってよかったなあとしみじみ思いました。

個人としての感想は、プールがとても楽しかったです。なかなか親子だけでは、市民プールに行くのがおっくうで・・・集団で行くととっても楽しいものです。ボランティアのお姉さんに子どもをまかせ、自分でスイスイと何十年ぶりに泳ぎました。子どもも親以外の人にお世話を受けるのは、学校以外にあまりないので、いい経験になったと思います。

音楽レクではずっと耳をふさぎっぱなしの子どもでしたが、数日してはるだはるだ・・・♪とハミングし始めた時は、びっくりしました。親も大きな声で歌って楽しかったです。

大声といえば、最終日のシダックスでのカラオケ。アルコールなしで我々は どうしてあんなに盛り上がるのでしょうか？子どもも耳をふさぎっぱなしでしたが、きっと楽しかったでしょう。終了の時シダックスのホールで、仲間たち・実習生・ボランティアにお迎えの保護者が合流し大集団のごった返し・・・でも自立の会の将来は明るいぞ！！と思ったのは私一人だったのでしょうか？

来年度は、作業ができない小学部の子どもも楽しめるようなレクリエーション的なプログラムをしっかりと組んで、もっともっと多くの人を誘い、一緒に楽しい夏を過ごしていきたいなあと思いました。本当にスタッフの皆さん、ご苦労様でした。



■10月3日(日) 大宮地区公民館で、ゆうの家の仲間たちと実習生・ボランティアとの秋の交流会が開かれます。サマー体験実習で生まれた「交流の輪」をこれからも大切にしていきたいです。